

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



— 61号 —

発行日 / 平成23年 4月10日
発行所 / 草津市大路2丁目 11-33

TEL 077-561-6111
077-561-6133

ホームページ
http://www.shigajou.or.jp

東日本大震災は他人事ではない!!

3月11日に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0を記録した「東北地方太平洋沖大地震」(以下は東日本大震災と称す)は、国内観測史上未曾有の大災害となりました。犠牲になられた方に慎んで哀悼の意を表するとともに、被災された施設、仲間、職員、ご家族、関係者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

報道でみてわかるように2万7千人以上の死者・行方不明者を出し、さらに福島原発事故による放射能漏れを引き起こしました。3月24日現在で、東日本大震災で被災した福祉施設が19都道府県・766カ所に上り、259人の職員・利用者が死亡・

行方不明になっていることが厚労省のまとめで明らかになりました。被災地の聴覚障害者団体等は、聴覚障害者・コミュニケーション支援従事者の安否確認、被災状況把握に全力を挙げていますが、自治体のろうあ者相談員をしていた方の死亡が確認されています。行方不明者のうち、ろう児、ろう高齢者など数人が逃げ遅れた可能性があります。

全日本ろうあ連盟など5団体が中心になって「東日本大震災聴覚障害者救援中央本部」(本部長:石野富志三郎)が設置され、岩手県、宮城県、福島県を絞って本格的な救援活動が始められました。

今後は避難所から仮施設住宅・自宅に、そして自宅で元の暮らしが送れるよう一人ひとりのニーズにあった支援、精神的ケア、就労や教育支援が求められています。

なお、被災地(又は被災地からの避難者)への聴覚障害者支援職員の派遣については厚労省より都道府県へ「視聴覚障害者等への避難所等における情報・コミュニケーション支援に関する手話通訳者等の派遣について」(事務連絡)が発令されました。全国聴覚障害者情報提供施設協議会は次の方針が確認されました。

1. 「東日本大震災聴覚障害者救援中央本部」に協力団体として参加し、救援中央本部の方針に基づいて被災地の救援に全面的に協力する。

2. 救援中央本部は被災地への全国からの聴覚障害者支援職員などの応援を受け入れるための調査を行っており、準備が整い次第、中央本部の要請に応じて、協議会加盟施設への応援要請を行う。

3. CS障害者放送統一機構か

【義援金へのご協力をお願い】

この義援金は長期にわたって聴覚障害者を取り巻く方々へ使用することを目的としています。

義援金振込口座について

① 銀行: みずほ銀行 江戸川橋支店
普通預金 口座番号: 1511276
名義: (財)全日本聾唖連盟 災害救援基金 代表 石野富志三郎
(ザイダンホウジンゼンニホンロウアレンメイ サイガイキョウエンキキンダイヒョウ イシノフジサブロウ)

② 郵便振替: 記号 00160-9-166840
名義: (財)全日本聾唖連盟

※ 通信欄に「東日本大震災の災害義援金」とご記入ください。

らの要請に応じて、聴覚障害者情報提供施設の番組制作機能を活かして、各情報提供施設で地元の聴覚障害者から被災地への「応援メッセージ」のビデオ(手話・字幕付き)を作成し、「目で聴くテレビ」での放送に協力する。

4. その他、必要な支援については逐次、連絡、要請を行う。

この要請を受けて滋賀県立聴覚障害者センター、自治体等では、前向きに検討、調整しているところです。

近所付き合いや地域社会への参加をすすめるために

平成22年度養成講座の報告

―聴覚障害者センター、各市
主催の手話講座―

聴覚障害者が地域社会で疎外感を感じることなく暮らしていくためには、手話によるコミュニケーションの機会を大きく広げることが重要です。事実、聴覚障害者がコミュニケーションで一番困難と感じているのは、「近所の人とのコミュニケーション」の場面（2007年法人実態調査）で、聴覚障害者の3人のうち2人が困難と答えています。また、地域活動への参加では、8割を超える人が「コミュニケーションがとりにくい。不安がある」と答えており、コミュニケーションの壁が近所付き合いや地域社会への参加を大きく妨げているのが現状です。

センターでは、聴覚障害者にとって身近な暮らしの場で住民とのつながりを増やすため、手話講座を開催してきました。その取り組みは、センターや市町の主催による手話講座の開催や手話活動者への支援です。

また、センターでは、手話通訳の資格取得をめざす「手話通訳者養成講座」を毎年開催しています。昨年

秋にスタートした「基本課程」はこの3月に終了し、4月からは「応用課程」、「実践課程」と進み、11月には終了して手話通訳全国統一試験（12月3日）に臨みます。「応用課程」には26人（昼コース11人／夜コース15人）が受講しています。

手話通訳者の資格試験では、昨年の12月4日に実施された「手話通訳全国統一試験」に講座の受講生ら22名が挑戦しました。3月下旬に合格発表があり9名の方が合格しました。また、昨年10月2、3日に実施された「手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）」は、すでに今年の1月30日に合格発表があり、滋賀県は2名が合格しました。

これらの事業は、聴覚障害者が安心して地域社会で暮らしていくためにも重要な役割を果たしています。事業の成果をあげるため、市町や聴覚障害者団体、協力団体と共同して取り組んでいきたいと考えています。

―要約筆記者養成講座―

要約筆記養成事業は前期課程45時間、後期課程60時間の養成時間を要します。長時間のため2カ年にわたっ

て講習を受けてもらいます。毎年4月から後期課程の講座が始まり、後期課程が終わろうとするころから初心者向けの前期課程の講座が開講します。ですから事業の実施順で報告をすることになりますが、後期課程では手書き5名、パソコン8名の方々が受講、修了されました。後期課程の講習時間以外にも講演会や各種地域の大会など要約筆記が配置されている会場に見学に行っていたさまざまな。また実際の会議の場を借りて模擬実習にも熱心に取り組んでいた

ことができました。要約筆記者として登録されるためには認定試験という難関にも臨んでいただくことになっており、12月12日全課程の修了者および休会中であつた登録者を含めて試験を実施しました。受験者は12名。手書きクラス5名、パソコンクラス4名が合格され23年度の新規登録者となります。今後のご活躍に期待が寄せられるところです。

前期課程の講座には、19名の応募がありました。残念なことに関講の後、仕事の関係や家庭事情、健康上の問題があり、受講を取り消される方が続出し最終的には手書き3名、パソコン7名の方々が2月初めに修了されました。難聴者へのコミュニケーション手段である要約筆記が、

社会に広く認知されていないこと、その必要性が伝わっていない現状が応募者（受講者）数の低下とも関わっているのではないかと考えてしまいます。

平成22年度 盲ろう者通訳・ 介助者養成研修事業実績報告

盲ろう者通訳・介助者養成講座を、平成22年9月22日（水）～平成23年2月23日（水）、県立聴覚障害者センター、びわこみみの里、県立視覚障害者センター、NPO法人しが盲ろう者友の会などで開催しました。

受講生は11名、手話のできる人・学習中の人が中心に集まりました。内容は、講義と実習、観察実習を行い、観察実習では盲ろう者友の会の協力のもと、盲ろう者と一緒に実習前後に打ち合わせと反省を重ね、効果的な実習となりました。初めての試みとして、盲ろう者と共にスーパーマーケットでの買い物、近江鉄道の乗降の通訳・介助を行いました。また、兵庫県盲ろう者友の会の活動報告や、疑似体験は、盲ろう者と関わる上での心がまえなどたいへん参考となりました。50時間という長いカリキュラムを助け合いながら修了することができました。

講座の最終日には、通訳介助者の

滋賀県登録のしくみや、盲ろう者友会の生活訓練事業の説明があり、修了生は自分にできることを探りながら、今後の活動に期待胸ふくらませていました。

盲ろう者の社会参加が進み、盲ろう者個々の要望に対応できる、盲ろう者通訳・介助者の養成が急務となっ

滋賀県立聴覚障害者センター、

周辺が整備されました。

○センター一階・二階ホール

エアコン設置

センター設立当初から要望していた一階と二階のホールおよび廊下にエアコンが設置されました。これまでは、ホールや廊下にエアコンが無

かったので（いわゆる館内空調）各部屋との温度差が激しく、特に冬場などは廊下からの寒気が部屋に流れ込み、足下が寒い状態でした。また一階事務所受付カウンターのガラス戸も、センター開所当初は何も無い状態で、あまりの寒さに、あわてて設置しました。

今後は、少しは快適に利用して頂けることになると思いますが、電気代や保守に係る管理料が心配です：担当者（苦笑）あわせて、利用する皆様方には節電にご協力よろしくお願ひします。

ています。触手話を含む通訳者の養成、コミュニケーションがとれる移動介助者の養成、また、指点字、ブリストラを使用した情報提供の方法を確立していくべきと感じます。視覚障害者、聴覚障害者の介助者が増えることも望まれます。

○電話も新しく！

今回のエアコン設置とともに当初から県に対して要望していた電話設備も新しくなりました。

以前の電話設備には留守番機能も無く、停電時にはバッテリーが消耗していたため（また、古いので代替えの物もなく）、様々な設定が消えてしまい、その都度業者にお問い合わせして使えるようにしていました。新しい電話では、不在メッセージも使えるようになり、手話通訳しながら会話ができるヘッドホンセットも入りました。もちろん停電時でも安心です。

○センター前の道路が拡幅

これも以前から草津市などに対して要望していたのですが、以前から

あった側溝がなくなり、センター前の道路が広くなりました。一方通行はわかりませんが、隣にある保育所の送迎の時間など、車の通行が危なかったのですが、少し余裕ができた

した。道は広くなりましたが、油断は禁物です。センター利用の際は安全運転をお願いします。

平成23年度 滋賀県手話ボランティア・手話通訳者（士）養成講座 開催一覧

講座名	ねらい	受講対象者	定員	期 間	会 場	申し込み期間	備 考
手話ボランティア養成講座	入門講座 全12講座	聴覚障害者の特性や聴覚障害者の生活・介護問題について理解を深めると共に、手話による会話や交流ができる者を養成する。	40名	2011年7月6日～ 2011年9月28日 毎週水曜日 午後1:30～4:30	聴覚障害者センター	5月2日(月) 6月15日(水)	平成24年度手話基礎講座には連動しております。
	基礎講座 全18講座	障害者福祉の概要や手話通訳の基礎的な事項を理解し、手話で自分の考えや意見を自由に伝えられ、聴覚障害者と自由に会話ができる者を養成する。	40名	2011年6月6日～ 2011年9月30日 毎週金曜日 午後1:30～4:30	聴覚障害者センター	4月20日(木) 5月23日(月)	この講座は手話通訳者をめざす人たちのための基礎講座です。
手話通訳者養成講座	基本講座 全24講座	手話を用いて、聴覚障害者等のコミュニケーションの円滑化を支援するため身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務等について理解ができ手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得した手話通訳者を養成する。	昼コース 20名	2011年10月7日～ 2012年3月9日 毎週金曜日 午後1:30～3:30	聴覚障害者センター	7月1日(金) 8月5日(金)	この講座は受講者の進考のため面接試験を実施します。(9月予定)基本課程の修了者は平成24年度手話通訳者養成講座・応用課程・実践課程を受講していただけます。
		手話で日常会話が可能なる者。又は手話サークル等での活動経験が概ね3年以上の者。いずれも全講座を履修できる者。但し予め面接等の審査で実施主体が適当と認めた者。	夜コース 20名	2011年10月5日～ 2012年3月7日 毎週水曜日 午後7:00～9:00	聴覚障害者センター		
	応用課程 実践課程 全38講座	平成22年度手話通訳者養成講座基本課程の修了者。又は、同等の知識や技術を有する者で実施主体の長が認めた者。	昼コース	2011年4月5日～ 2011年11月22日 毎週火曜日 午後1:30～3:30	聴覚障害者センター	今年度の募集はありません。	講座修了者の内、全国統一試験(12/3)に合格された方には手話通訳者の認定証の交付と登録を行います。
			夜コース	2011年4月7日～ 2011年11月24日 毎週木曜日 午後7:00～9:00	彦根市障害者福祉センター		
通訳士講座	理論講座 技術講座 全12講座	社会福祉法人聴覚障害者情報文化センターが実施する手話通訳士取得に必要な専門的知識及び手話通訳技術の習得を図り聴覚障害者福祉の増進に資する	10名	2011年6月13日～ 2011年9月26日 隔週の月曜日 午後1:30～17:00	聴覚障害者センター	5月2日(月) 5月31日(火)	学科試験(10月1日) 実技試験(10月2日)

【お知らせ・お願い】

*問い合わせ、お申し込みは、各講座の「募集要領」をご参照下さい。お申し込みは、必ず申し込み期間内(上記)をお願いいたします。
*各講座ともに、受講対象者の資格(上記)に基づいて受講者の決定を行います。その際、受講希望者が多数の場合は抽選によって決定することもありますのでご了承下さい。

新しいビデオが入りました

■平成22年度 新作ビデオリスト字幕ライブラリー共同事業後期分 (平成23年3月)

【DVD作品】

- 生活ほっとモーニング
 - * お腹がひっこむ!～スロトレ完全保存版～
- ためしてガッテン
 - * もっと知りたい! 介護負担激減のミラクル技!
- 住まい自分流
 - * わが家の窓しっかり防犯 クレセント錠
 - * わが家の窓しっかり防犯 クレセントガード版
 - * わが家の窓しっかり防犯 戸先錠
 - * わが家の窓しっかり防犯 内格子
- 和風総本家 日本を支える人々大晦日お正月編
- 天才! 志村どうぶつ園
 - * 生まれたてホヤホヤ 世界の赤ちゃん動物大集合スペシャル
- サイエンスZERO
 - * 生命活動のなぞに迫れ～最新 代謝研究～
 - * 眠れるエネルギー 地熱を掘り起こせ
- きらっと生きる
 - * わしらの太鼓はからだで感じろ～聴覚障害者・石川康文さん～
- 爆笑問題のニッポンの教養 file-4 私はここに いる
- 福祉ネットワーク
 - * 他人を信じて前に進め ～奈良フリースクールの挑戦～
 - * 公開すこやか長寿 石川県珠州市
- ろうを生きる難聴を生きる
 - * 中途失聴者にとっての手話～今求められる学習環境～
 - * 無くせ情報バリア
 - * 夢は七大陸最高峰制覇～大窪康之さん～
 - * ここが知りたい! 聴覚障害者と裁判員制度
 - * ろう者が作るアクション映画
 - * 手話が結んだ国際結婚
 - * どう広めるか “ろうあヘルパー”
 - * シリーズ人工内耳① ～大人のケース～
 - * シリーズ人工内耳② ～子どものケース～
 - * 人形劇で広がる世界
 - ～デフパペットシアターひとみ30年のあゆみ～
 - * たたけ! 体に響く伝統の音小倉祇園太鼓 鼈鼓(ろうこ)会
 - * 筑前琵琶に魅せられて～毛利英二さん～
 - * ろう文化を見つめて
- 長崎原爆特集 あの日 僕らの夢が消えた
 - ～被爆学校 生徒たちの64年～
- 少女たちの日記帳 ヒロシマ 昭和20年4月6日～8月6日
- プロフェッショナル 仕事の流儀
 - 人生によりそい、がん闘闘 乳腺外科医 中村清吾
- 週刊こどもニュース 特集 “核” のない未来へ
- 川の光
- 土曜プレミアム裁判員制度スペシャルドラマサマヨイザクラ
- テレビ東京開局45周年記念ドラマスペシャル 白旗の少女
- 松本清張生誕100年記念スペシャルドラマ「火と汐」

- テレビ東京開局45周年記念 新春ワイド時代劇 柳生武芸帳
- 阪神淡路大震災 15周年特集ドラマ その街のこども
- 姿三四郎 一九四三年三月作品
- 10min. ボックス 生活指導
 - * たばこの害 知っていますか?
 - * 未成年の飲酒～体への影響～
 - * 薬物依存の怖さ知っていますか?
 - * 朝ごはんって大事ななの?
 - * 睡眠不足の危険知っていますか?
 - * ダイエットの危険
 - * 健康的な食事～栄養のバランス～
 - * “がんばれる体” のための食事
 - * 大麻の怖さ知っていますか?
 - * カード会社
 - * 消費者の権利
 - * 携帯電話の落とし穴
 - * 電子マナー
 - * ネット社会の中で
 - * ボランティア
 - * さまざまな家族の形①
 - * さまざまな家族の形③
 - * 女性と男性①
 - * 女性と男性②
- 小早川家の秋
- きけ、わだつみの声
- 劔岳 点の記
- 時雨の記
- ホーム・スイートホーム
- ホーム・スイートホーム 2 日傘の来た道
- 夏樹静子・作家40周年記念サスペンス特別企画「Wの悲劇」
- ここが聞きたい! 名医にQ
 - * あなたの疑問に答えます! 動脈硬化
- きょうの健康 決定版! 内臓脂肪大研究
 - * どこが違う? 皮下脂肪と徹底比較
 - * 危険な生活習慣病
 - * こんな病気にも注意
 - * リスクを減らす生活
 - * Q&A
- 世界名作劇場 フランダースの犬 25～52
- ちびまるこちゃん
 - * 春だ桜だ!! 20周年前祝スペシャル
 - 「みんなのお花見」の巻 「お姉ちゃんの誕生日」の巻
 - * 「まる子とハチ」の巻
- 名探偵コナン
 - * 第537話 怪盗キッドVS最強金庫 前編
 - * 第538話 怪盗キッドVS最強金庫 後編

■自主制作【DVD・VHS】

- つつうらうら 「聴導犬をご存知ですか。」
- 第10回手話ふれあいフェスティバル
- それいけ! くしいんぼ 「丁寧料理～近江八幡市～」
- 第 回近畿サークルフォーラム

タツノオトシゴ

“けんだま”について、みなさんどのくらい知っていますか?

私は、子どもの頃、家にあったものの、あまり興味を持ったことがなく、熱心に練習したり、遊んだ経験がありませんでした。(ヨ-ヨ-は上手いんですけど…スケバン刑事の影響で(´_`;))なので、正直、子どもたちの方が詳しいくらい。あまり知りませんでした。

それが、つい前日“けんだまショー”を鑑賞する機会があり“けんだま”の奥深さを改めて知ることができました。(おもしろかったですよ～♪) けんだまの技、3万以上とも言われているそうです!! 小さい子どもができる技から、名人と呼ばれる人が何度も何度もやってやっとなでできる神業まで!! その中から「とめけん」や「もしかめ」などのポピュラーな技、めずらしい技、難しい技など幾つか見せて頂き、私たちにも教えて頂きました。たかがおもちゃ、されとおもちゃと感心致しました。

最近では“3DS”なんて、今どきなおもちゃを小さな子どもが喜んで遊ぶ時代。(大人が与える時代) 昔ながらの素朴なおもちゃで一緒に遊んでみませんか?

(M. K)